

事務事業名 筑紫野市青少年指導員会補助事業

出力日：令和06年03月18日

キーコード：612

施策：	19	青少年の健全育成	財務コード	01090603-11-550
基本事業：	04	環境浄化活動の推進	担当部	教育部
基本事業の 成果指標	少年の検挙・補導人数		担当課	生涯学習課
			担当係	生涯学習・青少年担当



事務事業が貢献すべき成果

計画年度	～		新規・継続	継続	会計区分			実施計画	
1. 対象（誰、何に対して事業を行うのか）			2. 手段（事務事業の内容、やり方、手順）						
筑紫野市青少年指導員会			<ul style="list-style-type: none"> ・青少年指導員の知識、技能の向上を図るとともに、青少年の健全育成及び非行防止活動を支援するため、補助金を交付する。 ・平成24年度より、各小学校区に5人以内の配置。 ・11小学校区で総数55人以内。 （任期2年：4/1～翌々年3/31） （令和5年4月現在で、53人委嘱済） 						
3. 意図（この事業によって対象をどのような状態にしたいのか）			【主な活動内容】						
青少年指導員の知識、技能の向上を図るとともに、指導員相互及び各校区間の連携を緊密にし、少年補導員会等の関係団体との協力体制を確立し、もって青少年の健全育成及び非行防止活動を推進する。			<ul style="list-style-type: none"> ・パトロール 小学校区での定例パトロール、少年補導員会との夜間一斉パトロール 観月会や成人式でのパトロール ・研修及び視察 						
4. 成果（簡易評価は未記入）									
成果指標名称		単位	03年度 実績	04年度 実績	05年度 当初	06年度 要求	07年度 計画	08年度 計画	目標
教育講演会の出席者数		人	0	138	130	130			130
巡回数		回	413	487	550	550			550
5. コスト									
事業費		計	千円	0	90	90	90		
		国	千円	0		0	0		
		県	千円	0		0	0		
		地方債	千円	0		0	0		
		その他	千円	0		0	0		
一般		千円	0	90	90	90			
正職員人工数		人工	0.1	0.1	0.1				
正職員人件費		千円	792	773	782				
トータルコスト(事業費+正職員人件費)		千円	792	863	872	90			
6. 成果状況及びコメント（簡易評価は未記入）									
あがっている どちらかといえばあがっている あがっていない（停滞・低下）		青少年指導員会の会議（幹事会）が有効に行われたことで、各校区間で連絡事項や活動について情報共有がスムーズになされ、青少年活動を見守る体制に繋がった。 教育講演会は3年ぶりに通常開催。							
7. 評価及びコメント（簡易評価は未記入）									
対象動向	維持	類似事業	なし	平成26年に、活動報告書の様式を分析・検討しやすい内容に変更した。					
手段効率化余地	なし	コスト削減余地	なし						
公的関与	妥当性がある	受益者負担	余地なし						
上位貢献度	基礎的事務事業	業務推進課題	なし						
成果向上余地	中程度								
8. 改善改革案（簡易評価は必要な場合のみ記入）					改善方向性	維持	見直し	廃止	事業終了
改革案/期待する成果/必要性/推進スケジュール/必要な費用（維持/事業終了の場合は記入する必要なし）									
青少年の健全育成、非行防止には、巡回活動をはじめ青少年指導員会の活動が重要であり、引き続き支援を続けていく。									
事業開始背景及び現在の環境変化（市民・議会等の要望）					備考・特記事項 or 進行管理欄				
平成4年7月、「青少年を非行から守る全国強調月間」に併せて発足し、小学校区を中心に、青少年の健全育成に関する育成事業の推進、各種指導者との連携を図る等、青少年活動の指導を目的とする。他の青少年健全育成団体、防犯団体及びPTAとの連携が求められている。									